

応用ミクロ経済学

第 3Q～第 4Q 水曜日 10:45-12:45 / W932 (大岡山西 9 号館 3 階)

講義の概要とねらい ミクロ経済学を基礎として、環境問題の発生と解決について理論的に明らかにするとともに、環境問題の解決に向けた対策や政策の実践を学ぶことで、理論と実践の関係性やギャップについて理解し、政策においてどのような工夫がなされているかを分析できるようにする。

特に、消費行動ならびに生産行動の各々の視点から環境問題をとらえるとともに、それらを統合する一般均衡の考え方などについて解説を行う。また、具体的に環境問題の解決をデザインするためのシナリオ分析の手法を学ぶことで、問題設定からその解決に向けた政策の立案、実施から評価に至る一連の手法を説明できるようになる。

到達目標 ミクロ経済学の理論に基づいて、環境問題の発生や解決の仕組みが説明できるようになる。また、実際に生じている環境問題を取り上げることで、理論と現実の関係性、ギャップについて説明できるようになる。また、特定の環境問題を取り上げ、その解決に向けた対策を提案するとともに、その実施に向けた課題を認識し、どのようにすれば、有効な対策になるかを検討する。

キーワード 消費行動、生産行動、一般均衡、環境負荷、政策、シナリオ

学生が身につける力 専門力・課題設定力・実践力又は解決力

授業の進め方 各回のトピックを、資料をもとに説明する。また、環境問題の設定や解決に向けた評価については、学生によるプレゼンを通じて議論を深める。

授業計画

- 9/28 環境政策とその課題【増井】
- 10/5 限界費用と環境政策【増井】
- 10/12 生産行動と環境問題【増井】
- 10/19 イノベーションと環境改善【増井】
- 10/26 家計の特徴と家庭から発生する環境負荷【金森】
- 11/2 消費選択【金森】
- 11/9 時間と家計生産に関する理論(1)【金森】
- 11/16 時間と家計生産に関する理論(2)【金森】
- 11/30 時間と家計生産に関する理論(3)【金森】
- 12/7 消費行動からの環境負荷発生量の推計【金森】
- 12/14 消費行動と環境負荷発生モデリングの現実【金森】
- 12/21 一般均衡理論と環境問題【増井】
- 1/11 将来シナリオ【増井】
- 1/18 異時点における最適な環境対策【増井】
- 1/25 環境問題の解決に向けたプレゼンテーション【増井】

教科書 内容が多岐にわたるため、各回において講義資料等を提供する。

成績評価の基準及び方法 【増井】各回で出される課題のレポート(10%)やプレゼン(25%)、最終レポート(15%)によって評価する。【金森】レポート(3回を予定)で評価(50%)。

関連する科目 環境経済学(IEE.B333.E)

履修の条件(知識・技能・履修済科目等) ミクロ経済学第一(IEE.B201.E)及びミクロ経済学第二(IEE.B202.E)を履修していることが望ましい。

連絡先(メール) 増井利彦 特定教授(masui@nies.go.jp)/金森有子 特定准教授(kanamori@nies.go.jp)

オフィスアワー 授業開講日の授業前後の時間帯は教員が研究室に在室。普段はつくばの研究所に在籍するため連絡はメールで行うこと。